

問1 律令制度における「国司」と「郡司」の性質の違いについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 山口公立入試 類似）

1. 国司は一定の任期ごとに都から派遣される官吏であり、郡司は代々その土地を治めてきた有力豪族が任命される役職であった。
2. 国司は武力を持つ武士の中から幕府によって任命される役職であり、郡司は天皇の近親者が都から派遣される役職であった。
3. 国司は年貢を徴収するために現地で雇われた農民の代表であり、郡司はそれらを監督するために中央から派遣された役人であった。
4. 国司は土地の完全な所有権を持つ豪族が就く役職であり、郡司は中央から視察のために一時的に送り込まれる役人であった。

問2 律令制における「調」という税が、当時の政府にとってどのような役割を果たしていたか、その説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 各地の国府で蓄えられ、飢饉の際の救済用食料として保管された。
2. 都での政府の運営経費や、貴族への給与としての財源になった。
3. 公地公民制を維持するため、農民に土地を割り当てる対価として徴収された。
4. 有力な農民が地方の政治に参加するための、一種の参加費として機能した。

問3 古代の政府が設置した地方組織について、現在の宮城県に置かれた多賀城が主に東北地方の行政と防衛を担ったのに対し、現在の福岡県南部に位置し、九州地方全体の統括や対外関係を担った役所を選びなさい。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 大宰府
2. 秋田城
3. 平城京
4. 国府

問4 奈良時代、聖武天皇は社会の不安を鎮めるために、仏教の力によって国を守るという考えを政治に取り入れました。この思想を何と呼びますか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 鎮護国家の思想
2. 浄土真宗の教え
3. 国家神道の考え
4. キリスト教の教義

問5 律令制度のもとで行われた兵役のうち、唐や新羅などの大陸勢力からの侵攻に備え、九州北部の沿岸警備にあたった兵士を何と呼ぶか。主に東国の農民が徴兵されたことで知られている。（2016年 静岡公立入試 類似）

1. 地頭
2. 防人
3. 国司
4. 守護

問6 奈良盆地の北部に位置し、碁盤の目状に区画された都市計画を持つ都があります。中央を南北に貫く朱雀大路を境に、東側を左京、西側を右京と呼び、さらに左京の東側には「外京」という張り出し部分が設けられていました。710年に唐の都である長安をモデルに建設されたこの都の名称として正しいものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 平城京
2. 平安京
3. 藤原京
4. 難波宮

問7 8世紀初めの大宝律令が制定された頃、日本は大陸の先進的な国家に大規模な使節を派遣しました。この使節が、当時の中国の王朝から進んだ制度や文化を日本に持ち帰り、日本の国家の仕組みを整える上で重要な役割を果たしたものを何と呼びますか。（2023年 広島公立入試 類似）

1. 遣隋使
2. 遣唐使
3. 朝鮮通信使
4. 勘合貿易船

問8 701年に完成した大宝律令によって確立された、当時の日本の国家体制のあり方として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 香川公立入試 類似）

1. 唐の法制度にならって刑罰や行政のルールを整備し、天皇を中心とした中央集権的な律令国家の確立を目指した。
2. 氏姓制度を強化し、各地域の有力な豪族が独自の領地と人民を直接支配する分権的な体制を維持しようとした。
3. 武士が政治の実権を握り、幕府と呼ばれる軍事的な政府を組織して全国の守護や地頭を厳しく統制しようとした。
4. 仏教の教えを政治の根本に据え、十七条の憲法をさらに発展させた道徳的な国家運営によってのみ民衆を導こうとした。

問9 8世紀初めに、古くから伝わる神話や伝承を整理し、天皇による国内支配の正当性を示すことを目的として編纂された歴史書を選びなさい。（2015年 山口公立入試 類似）

1. 古事記
2. 万葉集
3. 風土記
4. 日本書紀

問10 重要文化財（建造物等）の指定件数に関する統計において、東京都や京都府に次いで全国3位の約1500件を記録している県があります。世界最古の木造建築物である法隆寺などの古い寺院が数多く存在し、かつて日本の政治の中心地であった歴史を持つこの都道府県はどこですか。（2016年 長野県公立入試 類似）

1. 奈良県
2. 滋賀県
3. 大阪府
4. 和歌山県

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 国司は一定の任期ごとに都から派遣される官吏であり、郡司は代々その土地を治めてきた有力豪族が任命される役職であった。	国司は中央政府（都）から派遣された官僚で、任期が終われば都に帰ります。これに対し、郡司は現地の有力豪族（かつての国造など）が任命され、その地位は多くの場合で世襲されました。このように、中央から派遣された役人と現地の有力者を組み合わせることで、地方統治の安定を図ったのが律令国家の特徴です。
問2	<b>答え 2</b> 都での政府の運営経費や、貴族への給与としての財源になった。	調によって全国から集められた布や多種多様な特産品は、都における中央政府の活動資金や、役人である貴族たちの給与として分配されました。これに対し、稲を納める「租」は主に地方の役所（国衙）の運営費用に充てられたという違いがあります。
問3	<b>答え 1</b> 大宰府	多賀城や秋田城が主に東北地方の蝦夷に対する軍事・行政拠点であったのに対し、大宰府は九州全域の統轄に加え、大陸に近いという特性から外交・国防の最前線としての役割を独占的に担っていました。このように、朝廷は各地の情勢に合わせて異なる機能を持つ重要な役所を配置しました。
問4	<b>答え 1</b> 鎮護国家の思想	8世紀の日本では、疫病の流行や政治的な混乱が続いていました。聖武天皇は、仏教の力によってこれらの災いから国家を守り、安定させようとしていました。この「仏教が国を守る」という考え方は鎮護国家と呼ばれ、当時の国家的な仏教政策の根幹となりました。
問5	<b>答え 2</b> 防人	7世紀後半の白村江の戦いでの敗北を受け、大和政権は唐や新羅の侵攻に備えて大宰府や水城を整備し、九州北部の警備を強化しました。この任務についたのが防人で、主に東国（現在の関東地方など）から農民が徴兵されました。家族と離れて遠い九州へ赴く負担は非常に重く、彼らの心情を詠んだ歌は『万葉集』に「防人歌」として残されています。
問6	<b>答え 1</b> 平城京	元明天皇の時代に、それまでの藤原京から遷都された都です。唐の都である長安を模した大規模な都市計画がなされており、日本の律令国家としての体制が整えられた時期の象徴的な場所です。図で見ると左京のさらに東に張り出している「外京」には、東大寺や興福寺といった大寺院が建立されました。
問7	<b>答え 2</b> 遣唐使	大宝律令によって律令国家としての形が整えられた時期、日本は中国の「唐」の優れた統治システムや仏教文化を直接学ぶために使節を派遣しました。これが遣唐使であり、持ち帰られた知識は平城京の建設や政治組織の構築に大きく貢献しました。遣隋使はそれ以前の「隋」に送られたものであり、朝鮮通信使は江戸時代のものです。
問8	<b>答え 1</b> 唐の法制度にならって刑罰や行政のルールを整備し、天皇を中心とした中央集権的な律令国家の確立を目指した。	大宝律令は、中国の唐の制度を模範として作成されました。刑罰に関わる「律」と、行政や税、身分制度などを定めた「令」から成り、これによって天皇を頂点とした公地公民の原則に基づく国家運営が行われました。それまでの豪族による土地・人民の私有を否定し、国家が直接国民を把握して税を徴収する仕組みを法的に裏付けた重要な出来事です。
問9	<b>答え 1</b> 古事記	奈良時代の初期、律令国家としての体制を整える過程で、国家の成り立ちを体系化する必要が生じました。天武天皇の発案により、稗田阿礼が読み上げた伝承を太安万侶が記録する形でまとめられたのがこの歴史書です。神代から推古天皇までの出来事が記されており、同時期に編纂された『日本書紀』とともに、天皇による支配の根拠を裏付ける重要な役割を果たしました。
問10	<b>答え 1</b> 奈良県	奈良県は、7世紀から8世紀にかけて平城京が置かれるなど、日本の政治や文化の拠点として栄えた歴史があります。そのため、当時の高い建築技術を伝える法隆寺などの歴史的建造物が数多く現存しており、重要文化財の指定件数が非常に多いことが特徴です。